

第81号 発行所 富山県造園業組合連合会青年部
編集・広報部 事務局 〒933-0911 高岡市あわら町16-16

TEL 0766-23-9964
FAX 0766-23-9985

6月10日
青年部全国大会にて…。



やっぱ青年部員って
○○○ですねえ～。

(注：上の○○○には、お好きな文字をお入れ下さい!!)



「志朗の部屋」

部長 伊藤志朗

約一年間にわたって準備してきた造園連青年部第二十五回総会・全国大会が、六月十日、十一日の両日開催され、盛会裏に終わった。西尾実行委員長陣頭指揮の下、実行委員会の皆さん、各支部のみんな、歌の練習やら、二次会の資料作りやら、忙しい中、本当によくやつてくれました。富山県支部の若い力を十分に全国にアピールできました。皆さん一人ひとりに「ありがとう」「ご苦労様でした。」

親組合と連携して四月に企画した太閤山ランドでの庭作りも、設計者である吉沢さん、城さん、今井さん始め、部員の多くが協力してくれました。準備期間が非常に短かった上、ちょうど全国大会の準備や企画部の旅行（愛・地球博）と重なり、これもまた大変な思いをしましたが、青年部ならではのエネルギーッシュな活動が展開できました。

庭作りといい、全国大会といい、その中

心には、常に野開直前部長がおり、その存在と牽引力はさすがと言う他ありません。お疲れ様でした。

今年の、庭作りと全国大会を経験し、更にパワーアップした青年部で、またガンバロー、オー!!

そろそろまた実行委員会を立ち上げなくてはいけません。OBである諸先輩方を交えて楽しく有意義な式典にしたいと思っていますし、記念事業も何か新しい物がないだろうかと内心思っています。



(社)日本造園業組合連合会 青年部 第25回総会・全国大会を終えて



全国大会での合唱を振り返り!!

射水支部 野開吉彦

全国大会実行委員長 西尾倫顕

御苦労様です。射水の野開です。

去る、6月10日、11日に全国青年部の総会・全国大会を無事終了することができ、関係各位に心から御礼申し上げます。

当県が開催当番県ということで約一年前より準備を重ねて参りました。一生懸命、全員参加でやらせて頂きましたが、行き届かぬ点も多々あつたかと思います。しかしながら我々青年部は、今回、それなりに時間を使い色々な会議・打合せ・資料作成等々行つたことはこれから仕事や当団体を運営していく上でもプラスにはたらいていくものと思います。

「造園」という志を同じくする青年が全国組織で相集い、会議を行つたり、親睦を深めることができる事業は国内でそんなに数多くはないと思います。

今回、私たちは色々な部分で企画運営させていただきましたが、「造園」について考える、といった部分では、少々物足りなかつたのではないかと私自身の反省も含め感じております。

私事で恐縮ですが今年で青年部卒業ですが、今回の事業を通じ、若いメンバーが実に色々なところで実力を發揮されたと強く感じております。是非、その力を新しい事業に發揮され我が青年部が飛躍することを御祈念致したいと思います。



そして皆さん、大変御苦労様でした。私自身とても大変でしたよ、この事業は…。

あれは、今年の初めに何やら話が持ち上がつてきました。当初は「ゴスペルを全国青年部員の前で歌おう!」。そんな、突拍子もない思いつきでスタートしたのですが、ボウリング大会の夜に、西尾君、中川君、今井君、竹内君、そして私で富山のセントマリー教会へお邪魔させてもらいました。すると、とてもパワフルかつ、すばらしいハーモニーでみんな歌つておられたのです。それを見たとたんに、「ここや無理やわ。」とか、「こんなうまく歌えんやろ。」と言つた意見が出ました。いや、本当にそうです、そ

の通りです。「昼、スコップとはさみ持つてクタクタになつてから夜ちよろつと集まつたくらいで、ここまで歌えんぞ!!」というのが私の本音でした。本当の意味での苦労はここからです。「じやあどうする。」と考えに考えたところ、「よつしや、そんならオラ、ギター弾くから青年部みんなで愛しのエリーでも歌わんまいけ!」そう言つてしまつたのです。それからトントン拍子に話が進み、塚本君、山元君にめぼしい曲をリストアップしてもらつたのですが、何を考えどるが、あの二人、約80曲ぐらい出し

ら約6曲ぐらいで練習しようか、といった具合になりました。

第1回目の練習日、大して人も集まらず「最初からこんな感じで、やる気あるがかホンマに…。」と腹では思いつつも「まあ初めやから仕方ないぢや。」とぐらに言つていたのをおぼえています。さて、第2回目の練習日、場所は小杉福祉会館にて。1回目と全く変化なく、「これでジャマないか? 歌うパートに分けるか? ちょっとこりや無理ダわ!!」そう思いました。そんなこんなで、あれは5回目ぐらいの練習からですか、ウチの娘2人を派遣して发声練習からみつちり教え込みました。するとどうですか。だんだん合唱の雰囲気が出てきました。曲目も『少年時代』『世界中の誰よりきっと』『与作』アンコールには『愛しのエリー』と決まり、部員達の心も歌声も一つになりました。

いいよ本番当日、私自身としては、歌やギター、そんな事よりも、つなぎの(トーク)こつちの方が気を揉みました、正直。全国の部員達の前での(トーク)ですから、歌がうまい、ヘタ、そんなことより(トーク)、とにかく会場を『ドカン!』『トークでドカン!!』朝から、そればっかりでした。そして、いざ本番は、歌に関しては、今まで一番良く声が出ていて、本当に気持ちが1つになつていきました。私のトークも今までにくぎレが良いと言いますが、サクサクといけた感じでした。

今回の事業で私が一番みんなに言いたかったことは、『団結すればなんでもできる』という事です。『1人の小さな力が大きな物を動かす』という事をみんなで実践したのです。この経験を大切に、これからも、青年部活動や、各自の仕事に役立てて下さい。

最後に、本当に御苦労様でした。



NOOS 富山全国大会

高岡支部 野嶽昌士

みなさん、ご苦労さまです！

青年部総会・全国大会が無事終わりました。伊藤部長、西尾実行委員長をはじめとする富山県青年部員一同の力の結集の賜物だと思います。他県青年部員の方々には、ご講演いただきました橋社長の造形に対する力強い思い、そして懇親会での富山県青年部員の熱い歌声を聞いていただき、富山県人の心意気を十分に感じ取つていただけたものと思います。

私は、全国大会実行委員会に参加させていたたことによつて、大会準備の過程で多くの方と出会い、お話をさせさせていただくことができました。貴重な経験を積ませていただいたことに感謝しています。

また総会・講演会の進行に際し各係でご担当いただき、皆様、本当にご苦労さまでした。では、失礼いたします。



中新川支部 高井克浩

約1年前から全国大会実行委員の一人として活動してきましたが、全国大会が終了してみれば、自分の役割を的確にやり遂げたのか、という気持ちがあります。私の受け持つた懇親会・二次会・研修旅行部門では、中川・今井の両2名が中心となつて企画案より携わつて頂いたおかげで、とても心強いものでした。最後には部員全員が何らかの役割を与えられた事によつて、青年部の結束が図られ、そつなく全国大会を終えることが出来ました。そして、一番重要な要素として、野開直前部長の発想力・行動力・遂行力など、数々のご協力には本当に感謝しております。

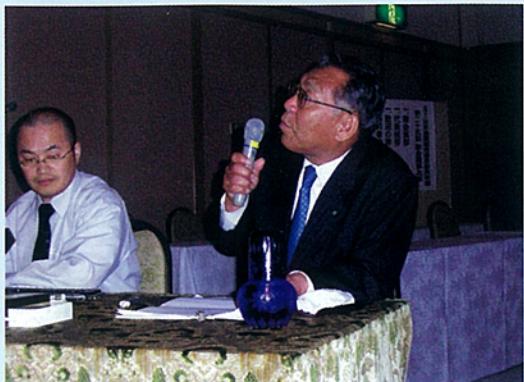
青年部での活動はこれからも次々にあります。創立30周年での部員同士の結束をより強固にするためにも、色々な活動に参加して話し合いの中に加わり自分の意見を述べ合つてもらい行動を起こしてください。「すすんでやる」という意識を持つて青年部を盛り上げていってください。

話しが多少ずれてしましましたが、部員の皆様・講師の橋様はじめ、おわら保存会の方々や親組合の皆様方、数多くの人の力により全国大会が無事終了したことを感謝しております。どうもありがとうございました。



中新川支部 大村 充

第一回目の練習が3月下旬に呉羽の「富山舞台芸術パーク」にて行われました。当日は3月下旬といえども雪がちらつき、練習の帰りには道路にも薄づらと雪が積もつていたと記憶しています。練習としましては最初の頃は慣れない合唱と「恥ずかしい」という気持ちから僕を含め皆さんのが声がなかなか出にくい状況となり、今回の合唱の指導者兼ギター伴奏である野開さんも大変苦慮されたと思います。しかしながら5月初旬頃から何度も野開さんの娘さんに発声練習を御指導頂いたことによって正しい音程・リズムによる発声ができるようになりました。その結果、私を含め皆さん自信を持って発声することができ、それに伴い合唱の際にも大きな声が出るようになりました。また、本番が近づくにつれて曲目も「少年時代」「与作」「世界中の誰よりも」と「いとしのエリー」と決まり二部構成になる曲目を含め皆さん本番に向けて熱心に練習をしました。



そして本番当日、名鉄ホテルでは眩いほどのライトを浴びる中、全国から参加頂いた造園青年部の方々の前で皆さん一丸となり4曲全てをしつかりと歌い上げることができました。

今回の合唱は富山県青年部の皆さんのが團結力と野開さん及び娘さんの御指導により成功できたと私は思います。今後もこういった行事を通して青年部皆さんの団結力を高めていけたら良いと思います。

平成17年6月10日、日本造園業組合連合会青年部 全国大会が富山県にて開かれました。その懇親会の余興として富山県青年部で合唱を行うこととなり、



全国大会も終わり、やつとゆっくりできると思つ
ていた7月中旬頃、広報部長の村本さんからの電話が
鳴りました。イヤな予感を感じ、わざと電話をとり
ませんでした。しかし小心者の私は、かけ直してし
まいました。『あのー、太閣山ランドで庭作つたね
かー、その事ちょっと作文にしてつたはれよ』……。

私の事業所は、古くから灯籠等の石造品を扱つて
いるせいか、それらの不用品が多くあります。雪見
灯籠の笠だけ、春日灯籠の竿だけ、どんな灯籠か判
らないが火袋だけ等々……こういった使えなくなつた
石造品の部材が、私の資材置場にはたくさんありました。
ふと思うと、それらはいつ使われてもいいよ
うにキレイに整理してあるのに気づきました。どう
やら『彼等』はすでにスタンバイしていたようです。
私はA4コピー用紙2枚を持って薄暗い台所に行き、
食卓で『彼等』が主役の物語を、20分ほど考えて作
りました。

「『彼等』は、リ

ガーデン」という世
界で、もう一度そ
の存在をアピールし、
色々な役を演じて
くれました。春日
の竿は景石をまね、
雪見の笠達は花吹

雪を演じてくれま
した。彼等に誘わ
れて、他のいらな

太閣山ランドでの庭作り リガーデンの物語

富山西部支部 今井浩司

くなつた
モノ達も
この世界
にやつて
きました。
剪定枝は
柵になり、
枝葉のチ
ップは園
路を引締め、
伐採され
た杉は飛石、
そして庭
を囲んで
くれました。
他にもど
んどん色んなモノが仲間に加わりました。活気溢
れる樹木も草花も今回ばかりは、彼等に主役を譲
り、脇役として対峙する事となりました。友情出
演にはチエンソーアート達「M農園・S農園JV
作品」が名乗りをあげてきました。クマや小鳥、森の
精霊のチエンソーアート達はこの世界を一層盛り上
げてくれました

作庭作業で特に苦労した事はありません。が、富
山西部支部をはじめ、多くの青年部員の方々に、
忙しい折にもかかわらず、作庭に加わって頂き、
また資材提供をして頂いた事に感謝しています。
つまらない物語に、文句ひとつ言わずに作業して
頂いた皆さんに本当に感謝しています。そして、
この青年部行事に御尽力頂いた親組合の方々にも
大変感謝しております。

「リガーデンの世界を楽しんだ『彼等』は以前と
同じように、私の資材置場で眠っています」



太閣山ランド モデル庭園づくりについて

技能推進部 城 治彦

皆様、御苦労様です。技能推進部の城です。

今回、ゴールデンウイークに行われた連合会主催
の「庭の日」のイベントで青年部として出展した、モ
デル庭園の作成について書きます。

野開直前部長よりこの話しを頂いたのが3月中旬で
した。準備期間を入れるとギリギリの様な気がしまし
たが、野開さんに「なんかせい！」と言われたのでな
んとかしようと思いました。そこで、まず青年部員の
皆様に図面を提出して頂き、こちらの独断で選考・添
削をして3作品を選び、図面(平面・パス)を完
成させました。これをもとに飛鳥ガーデンさ
んの倉庫で夕方6時～深夜まで約一週間かけ
て網代垣を完成するこ
とが出来ました。



これと平行して3作
品の内の1つで高岡の吉沢さんの洋風庭園、題して
「空の下のリビング」のテラス&ポイント塀の作成も
行われました。この間、夜遅くまで大変多くの方に参
加して頂きました。そして、4月11日より太閣山ラン
ドにて現場作業に入りました。

富山西部の今井さんの廃棄物やリサイクル品を中心
とした庭は、非常に段取り・チームワークが良く、3
日間でほとんど完成していたように思います。私の担
当していた、和風庭園「ねじれの美」は、森副部長
や、野開直前部長の手助けがあつたにもかかわらず、

4月20日ぐらいまでかかってしまい、和風庭園に協力してくれた方々には大変迷惑をかけたように思います。

色々な事が期間中ありました。

事故もなく、無事イベントを行いました。

完成品を正面より眺めてみると、各区分が絶妙に重なりハーモニーを奏でている様でした。普段あまり、作る事のない雰囲気の庭をつくり技術的にも大変勉強になったと思います。最後になりましたが、協力して頂いた皆様、本当にありがとうございました。以上



「庭の日」モデルガーデン奮闘作庭記

高岡支部 吉沢 実

あれは、4月の頃、このモデルガーデンの話を持ち

上がり、設計図提出(副部長は必ず)となり、自分は3月に仕事した洋風のプランの一部分を取り入れて提出したのです。(時間がなかつたので...)数日後、突然携帯の着信音が鳴り響き、電話にでると、なんと技能推進部長の城さんからです。話の内容は「吉沢さんのプラン選ばうかと思つたがいけど、幾らほどかかつけ?今、連合会事務所で集まつたがいけど、今からこれんけ?」その時、富山の現場で仕事をしていたのですが、手が離せない状態でしたので連合会事務所へは行けず、概算の見積を城さんに伝え電話を切りました。

それから数日後、連合会事務所で集合が掛かり、城

さんのプラン(純和風庭園)、今井さんのプラン、(リサイクルガーデン)、自分のプラン(洋風)、の三作品の連結した図面と予算書が並べられ、まず予算がない為、作品の設計変更や工期の問題等、色々な意見が飛び交いました。中でも自分のプランが一番問題で、塗り壁三体と、タイルテラスの作成です。塗り壁は降雨時は塗る事ができないし、タイル張りもできない、それとまた、日中作業するのには限界がある(皆仕事が飛んでしまった)、ということで城さんのプランの網代垣と自分のプランの塗り壁三体とタイルテラスを飛鳥ガーデンさんの車庫で、夜間作成すると言う厳しく難しい工程で話がまとまり工事の全容が明確になりました。

それから数日後、いよいよ作業開始。初日は、型枠組と鉄筋組、いろいろと悩みながらの作業となり、夜遅くまで掛けり、組終えたが工期の事を考えると、どう考えても夜間だけの作業時間では難しい事だと実感しました。次の日午後より4人で生コンを打設し塗り壁の基礎となるC・Bブロック積みを始めました。夕方になり作業人数も増え、作業もはかどりました。3日目、C・B積みの残りを積み終え、型枠バラシまでの作業となりました。この後車庫での作業は、塗り壁のベースモルタル塗り及び仕上げ壁塗り、テラスのタイル貼、青年部皆のおかげで、予定どおり塗り壁・タイルテラスが完成しました。いよいよ一番心配していた運搬の日、自分は吊り具を用意し、飛鳥ガーデンさんの車庫に向かいました。

車庫前には、すでに西野さんのクリーンが到着し数人集まっていた。まず、4メートルの塗り壁を八点で吊り、トラックに載せました。以外とスムーズに、載せ終えました。現場はここから、太閤山ランドへ移ります。その日、塗り壁・



タイルテラスは無事に据え付けました。作業は、ここで中間点。これからは、乱張り・枕木・レンガ積み・植栽・洗い出し等の作業が待ち構えていました。この時点で、工期が迫り連日の作業となりました。降雨の心配をしながら、段取り良く作業を進めるため、皆に協力を求め、いろんな恵を借り、予定工期内に完成することができました。完成した3作品をまじまじと眺め、感動し、ものすごい達成感を味わいました。

それから、約一ヶ月の展示期間中、樹木への灌水作業をやつていただいた方、ご苦労様でした。そして残すは、撤去作業。現場芝復旧で全工程が終了しました。

最後に、私事になりますが、最近の住宅様式の洋風化が多く、このモデル庭園を提案しました。具体的には、外構とも言つたりします。外構工事にはセメントという材料を必ずと言つていいほど、使用します。それに伴う、左官工・ブロック工・タイル工、そして当り前の造園工、いろんな職人を演じなければ、良い作品が出来上がりません。自分もさることながら、皆さんも、いろんな仕事に挑戦し、経験する事がものすごく大切な事だと思います。今回のモデルガーデン作成に携わる全てに、感謝します。皆さんありがとうございました。





今年の南砺支部の技能奉仕活動は、4月28日の「庭の日」のイベントと兼ねて、【南砺市の山々を守ろう!】と題して、ドングリ(ブナ、ミズナラ、コナラ)を植樹することで南砺の山々の保全をしました。

始めは小さな活動になるとみな思っていましたが、一つ、また一つとボランティアの方々や子供達の力が集まりました。それに多くの企業からの賛同を得ることができました。結局、奉仕活動当日も悪天候の中、400名を越える多くの方々に植樹に協力してもらえた大変うれしかったです。

植樹に際しては、ヘキサチューブを使用し、少しでも活用しやすく工夫しました。植樹をした子供達の中には、ヘキサチューブをうまく組み立てれない人もいましたが、一所懸命に植えていました。中にはものたりず「まだ、植えたいよ!」などと言つてくれる子供達もあり、こういうところから緑を身近に感じてくれれば良いなと心から思っています。

今回のこの活動で、単に植樹という活動だけにとどまらず、地域の人々と一緒に活動するという事の大切さが改めて実感できた一日だったと思います。



ドングリの木植樹を終えて

南砺支部 湯浅孝一

富山西部支部 柴崎英樹

カブトムシ幼虫無料配布を終えて



今年、5月5日、小杉町太閤山ランド内で「庭の日」のアピール活動の一貫として、地元放送局(北日本放送)とタイアップし、カブトムシ幼虫400ペアを県内各所で採取し、チビッコ達に無料配布した。お客様の反応としては「昔は畑の堆肥の中でよく幼虫を見かけたけど、最近は道路拡張等で自然が少なくなってきたおり、幼虫が見当たらなくなってきた。こういつたきつかけで自然に触れ合えるのは私達、そして子供達にとっても大変うれしい。親子でカブトムシの観察ができる。」というふうに、皆さんに大変喜ばれた。

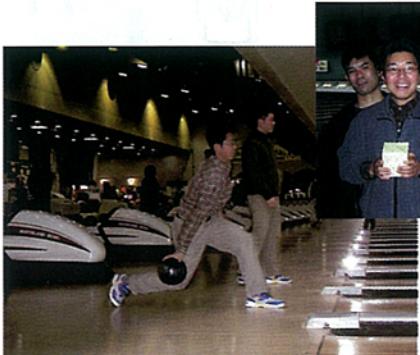
今回のこのイベントは、前日のラジオ放送と、太閤山ランドでしか情報がなかったにも関わらず、多くの人達が集まってこられた。子供達へ一人一人手渡し、幼虫400ペアは、30分もかからず配布終了した。そして子供達の「ありがとう」という言葉には喜びがこみあげた。

今後も、こういった企画を発案し、住民の皆さんと触れ合っていけば自然、ひいては造園への考え方も変わってくるのではなかろうか!

毎年恒例の行事ではありますが、全体部員数のわりに参加者が少なく残念なところもあります。これからは、今迄以上にたくさんの方が積極的に青年部行事に関わり、参加して、力を結集していきたいです。

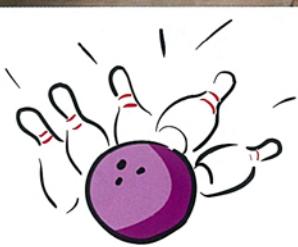
ゲーム結果 (2ゲーム合計点)

1位	高田敏充	307 P	(南砺)
2位	野嶽昌士	281 P	(高岡)
3位	山元克文	275 P	(高岡)
	浦上吉史	"	(射水)



ボウリング大会に参加して!

高岡支部 山元克文



『花フェスタぎふ』『愛・地球博』を訪れて、
四月十六、十七日に『花フェスタ2005
ぎふ』と、愛知万博『愛・地球博』に行つて
きました。十六日の『花フェスタ』では、色々
と見学できる所がありましたが、中でも花の
タワーでの屋上から見える景色はすばらしい
ものでした。他にも世界のバラ園、織部庵(茶
室)、霧のプレリュード等々、見て感じる物
がたくさんあり1日では回れない程の規模で

した。また花の地球館では、様々な植物が温室で育てられて
おり、見た事もない大きなサボテン等にはびっくりしました。

『愛・地球博』では、様々な国のパビリオンや色々な企業のパビ
リオンがあり、ここも1日ですべて回れない程の魅力いっぱいの
所でした。国々のパビリオンでは、それぞれの国の特徴や文化や
風習など、まるで現地の生活をそのまま持ってきた国があり、自
分の中で、感じる物や想う所があり大変勉強になりました。企業パ
ビリオンの方は、時間がなくあまり見れなかつたので次回また行つ
た時に回りたいと思います。また日本庭園もあり散策できるようになつ
つていて、歩きながら勉強できて、楽しい時間が過ごせました。

今回、このような青年部の旅行に参加できて非常に勉強になりました。また色々な行事に、意欲的に参加したいと思います。



『花フェスタぎふ』『愛・地球博』を訪れて、

中新川支部 澤谷 健



新入部員紹介

① 生年月日・年齢 ② 会社名 ③ 趣味
④ ラッキーカラー・アイテム
⑤ 一言コメント



片岸祐哉（南砺支部）

① S 59・3・6 21歳

片岸造園 ③ ゲーム・アニメ鑑賞

白・ライター

ご迷惑を掛けますが宜しくお願
いいたします。

湯浅孝一（南砺支部）

① S 56・12・11 23歳

福光緑化園

車、食事

④ ③ ② ① 赤・ゲーセンでゲットした、くま
プレーのぬいぐるみ

⑤ 少し変わりものの新参ですが、
よろしくお願いします。

大村 充（中新川支部）

① 1981・3・15 ② 大村造園

③ ドライブ・スキー

赤・腕時計

④ ④ 二月に入部させて頂いたばかりで
すので、これからもよろしくお願
いいたします。

編集後記

皆さん、暑い中御苦労様です。

上半期の活動が目白押しで編集が遅れてしまい申しわけありません。その分と言つては何ですが、力と心の込もつた文ばかりです。協力して下さった皆さん、大変ありがとうございました。

追伸 こまめに水分を取りませう。

(村本 徹・野上一志)

射水支部 西野暢優
(西野進樹園株)

嫁はんの名前
美保（みほ）さん（30歳）

得意料理
煮込みハンバーグ

結婚されたのは?
H17年5月15日

新婚旅行先
フランス

一言コメント
『早く子供が欲しい!!』



新婚さん
いらっしゃい